

松本清張 時代の闇を見つめた作家



[松本清張 時代の闇を見つめた作家_下载链接1](#)

著者:権田萬治

出版者:文藝春秋

出版时间:2009年11月15日

装帧:单行本

isbn:9784163719108

著者は日本のミステリー評論の草分けの1人。短篇「天城越え」と川端康成『伊豆の踊子』の比較に始まり、菊池寛や森鷗外との違い、小説創作の手法、清張ミステリーのトリックの特徴、歴史ノンフィクションや古代史に関する賛否両論を検討するなど、清張作品の魅力や作家の先駆的な取り組みについて縦横に論じた長篇評論です。松本清張をこれから読もうとする読者には格好の入門書となり、また熱心なファンの専門的な関心にも応えられるような、幅広い視点と平易な文体が魅力の1冊です。

作者介绍:

権田萬治

1936年、東京港区生まれ。東京外国語大学フランス語科卒。評論家、ミステリー文学資料館館長、元専修大学文学部教授(ジャーナリズム論、近現代文学)。1960年「感傷の効用
レイモンド・チャンドラー論」(「宝石」)でデビュー。ミステリーを中心に評論活動に従事。1976年『日本探偵作家論』で日本推理作家協会賞受賞。2001年新保博久氏と監修した『日本ミステリー事典』で本格ミステリ大賞受賞。幻影城新人賞、江戸川乱歩賞、日本推理作家協会賞、横溝正史賞、創元推理評論賞、日本ミステリー文学大賞の選考委員を歴任。

- 目録: 濁った暗い半生
- 文学への関心の芽生えと挫折
- 歴史小説からの出発
- 社会派推理小説への道
- 動機の世界性
- 清張ミステリーのトリックと名探偵
- 清張と旅
- 悪の肖像を描く
- 歴史の闇に迫る
- 清張の古代史研究
- 社会の変化と清張文学の遺産
- [\(收起\)](#)

[松本清張 時代の闇を見つめた作家 下载链接1](#)

标签

松本清张

评论

[松本清張 時代の闇を見つめた作家 下载链接1](#)

书评

[松本清張 時代の闇を見つめた作家 下载链接1](#)